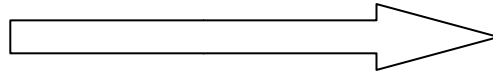


第三次計画 基本理念

障害のあるなしにかかわらず、互いの個性を認め合い
互いに支えあって、地域の一員として、
いきいきと安心して暮らせるまち・宇部を目指して



第四次計画 基本理念

障害のあるなしにかかわらず、互いの個性を認め合い、生き生きと暮らせる地域
共生のまちづくり

	第三次の現状と評価	主な課題
ともに学び育ち自立して暮らす	<p>○教育・療育</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康診査から早期療育への取組（療育ネットワークによる支援） 特別支援教育推進室を窓口、関係機関による連携支援の実施 教育現場の障害者理解 合理的配慮の実施 <p>○相談・サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合相談窓口、地域保健福祉チームにより、複合的な課題に対する相談支援を実施 ひきこもりや発達障害などの専門的相談の利用者が増加（ニーズが高い） 相談、サービス等支援現場の人材不足 	<p>親子の不安の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> 早い段階から適切な支援につなげる 切れ目ない支援 本人にあった配慮の実施 保育園、学童保育での障害への理解促進 <p>親なき後などの課題を見据えた支援の実施 →本人の安心した暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 親の高齢化、親なき後の安心な生活 高齢障害者の安心な暮らし 病院や施設から地域への移行 本人の状況にあった適切な支援 <p>支援現場の人材確保（専門性）</p>
ともに働き楽しむ	<p>○就労</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークステーションの取り組みを情報発信 就労支援ネットワーク会議との連携による障害者雇用の啓発 就労支援ネットワーク会議との連携による工賃アップの取り組み <p><障害者雇用率（宇部管内）> 平成 22 年 1.9% →平成 28 年 1.96%</p> <p><市内 B 型事業所平均工賃> 平成 23 年 17,356 円 →平成 28 年 20,256 円</p> <p>○文化・スポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ大会、文化行事の開催支援 スポーツコミッションと連携した障害者スポーツの普及・啓発 	<p>将来の安心を考えた就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般就労の可能性のある人に適切な支援を提供 本人の状況にあった就労 就労後の定着 障害者になっても働き続ける環境づくり <p>障害のあるなしに関わらず、ともに楽しめる行事やイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ともに楽しめる環境づくり
ともに安心して暮らす	<p>○障害者理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者理解講座やふれあい活動の促進 コミュニケーション支援条例の制定と取組の啓発 <p>○差別解消の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 差別解消協議会の取組による啓発 職員対応要領に基づいた、市職員の配慮を促進 市施設や市営住宅、道路、バスなどのバリアフリーの促進 災害時支援の構築 <p><当事者アンケート結果> 障害があることへの理解があるかという質問で、「理解されている」と答えた人 H22 年度 61.5% → H29 年度 56.9%</p> <p><市民アンケート結果> 差別解消法を知っている 44.2%（市民モニター） 全国 21.9%（内閣府調査）</p> <p><上記アンケート結果の考察> これまでの取組の結果、差別解消法について市民への周知は進んできている。しかしながら、市民は何をどのように配慮したら良いかわからない。一方、当事者は、差別解消法で求められる配慮を理解しているから、「理解されていない」と感じている。</p>	<p><第 3 次の成果目標> 障害者への理解度の割合 80% 29 年度アンケート調査の結果 56.9%</p> <p>↓</p> <p>「何が差別か、配慮はどうしたらよいのか」市民への周知をさらに強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害についての理解促進 差別解消、合理的配慮についての啓発 <p>安心のための環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ハード面の整備促進 学校、企業、地域での配慮の促進 コミュニケーション支援体制の強化 <p>⇒ユニバーサルデザインの取り組み</p>

互いを理解し共生するまちづくり ユニバーサルデザインのまちづくり	<p>理解促進</p> <p>○障害当事者と力をあわせた市民への理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「差別とは何か、必要な配慮」の啓発 <p>ユニバーサルデザインのまちづくり</p> <p>○心のバリアフリー</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政、学校、地域、企業等における配慮の促進 <p>○情報のバリアフリー</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション支援体制の整備 ICT を活用した情報提供の充実 <p>○環境のバリアフリー</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物、交通、災害対応など各分野でのユニバーサルデザインの取り組み ※研究開発先との連携、テクノロジーの活用 <p>支援の人材確保</p> <p>○支援現場の人材の養成・確保</p>
	<p>ともに学び育つ</p> <p>教育・療育</p> <p>○教育、福祉、医療の連携</p> <p>○支援の引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> インクルーシブ教育システムの推進 教職員、保育士等への障害者理解促進 配慮の実施（ハード、ソフト）
ともに自立し安心して暮らす	<p>相談・サービス</p> <p>○連携強化 （障害と介護、地域と専門職など）</p> <p>○地域での支えあい</p> <p>○支援者ネットワークの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 支えあい地域福祉 介護と障害の連携強化 総合相談と専門的相談機関との連携強化 地域移行、定着支援体制強化 （居住サポートによる住まいの確保、地域・福祉・医療等の支援者ネットワーク） 災害時支援の充実
ともに働き楽しむ	<p>就労</p> <p>○将来の安心と自立にむけた適切な支援（ステップアップ就労支援）</p> <p>○障害の特性に応じた働き方の理解（就労継続できる環境整備）</p> <p>文化・スポーツ等</p> <p>○障害のあるなしに関わらずともに楽しめる文化・スポーツ・地域イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設整備 コミュニケーション支援 理解促進